

令和 5年度

事務事業評価表 ( 令和 4年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 5 年 4 月 17 日

事務事業名		農業委員会各系統組織参画事業				事業区分		担当	
政策体系		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助	継続 単独	事務事業No.	040103000791
総合計画の施策名		0401 農林業の振興						所属課	050401
政策名		04 活力ある産業のまちづくり						課長名	農業委員会事務局
施策名		01 農林業の振興						グループ	農業委員会G
手段名		03 ③農業の魅力発信						担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計 農業委員会事業		
	01	06	01	01	02	00	単年度繰返し (平成17年度~)		
法令根拠	各系統組織規約				<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
会長・女性農業委員が農業委員会系統組織が主催する研修会や講演会に参加し相互の親睦と研鑽を図る。	各協議会の研修会、講演会への出席、負担金の支払い

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
会長・女性農業委員と連絡、日程調整をし各協議会の研修会・講演会に参加する。	会長が研修会等へ出席した回数	回	0.00	6.00	6.00	6.00	6.00
	女性農業委員が研修会等へ出席した回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	長が会議等へ出席した回数	回	16.00	15.00	0.00	0.00	0.00
	女性農業委員が会議等へ出席した回数	回	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
農業委員会会長と女性農業委員	会長の数 (県内市町村)	人	44.00	44.00	44.00	44.00	44.00
	女性農業委員の数 (県内市町村)		60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
各農業委員会の会長と女性農業委員が相互の親睦と研鑽を図る。	会長が親睦を図った回数	回	0.00	6.00	6.00	6.00	6.00
	女性農業委員が親睦を図った回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	68	165	309			
	事業費計 (A)	千円	68	165	309			
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

04年度事業費 実績 (千円)

05年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	04年度	05年度
18 負担金補助及び交付金	165	309
合計	165	309

(4) 当該年度の実施内容

05年度の事業内容

06年度の事業内容

07年度の事業内容

※年度ごとに事業内容を記入する	各協議会の研修会、講演会への出席、負担金の支払い	各協議会の研修会、講演会への出席、負担金の支払い	各協議会の研修会、講演会への出席、負担金の支払い
-----------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

事務事業名	農業委員会各系統組織参画事業	事務事業No.	40103000791	所属課	農業委員会事務局
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 県内の農業委員会会長と女性農業委員が相互の親睦と情報交換及び研鑽を図ることを目的として発足した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ この事業に関する意見や要望は寄せられていない。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 各農業委員会機能のレベルアップに結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 各地域ごとの農業委員会で構成し、その組織のために運営するものなので妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない その時々あって研修会や講演会が開催されており適正である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 講演会、研修会は会長・女性農業委員相互の情報交換の場ともなっており、廃止すると影響は大きい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 各市町村で連携して運営されている組織であるため、他に手段はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は、各市町村の負担金で運営されているため、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全構成市町村が対象で公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	講演会、研修会は農業委員及び職員相互の情報交換の場ともなっており、各市町村で連携して運営されている組織であることから引き続き行うことが望まれる。																			
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>